



記者発表資料

平成 30 年度 東京空港整備事務所の事業概要について

H30 年度事業費 : 551.6 億円

事業の概要

羽田空港においては、首都圏空港の機能強化に向けて、飛行経路の見直し等により 2020 年までに空港処理能力を約 4 万回拡大する取組みを進めています。

平成 30 年度予定

平成 30 年度予算では、飛行経路の見直しに必要な航空保安施設、誘導路等の施設整備を実施するとともに、駐機場の整備、国際線・国内線地区を結ぶトンネル（際内トンネル）の整備、空港アクセス道路の改良、川崎市・羽田空港を結ぶ連絡道路の整備、滑走路等の耐震対策及び老朽化に伴う更新・改良を実施します。

事業の効果

- 駐機場の拡充等により、拠点空港機能が強化されます。
- 国際線・国内線の乗継ぎ経路の拡充等により利便性が向上します。
- 地震発生率が高いとされる首都圏直下地震等に対し、震災後も航空ネットワークの機能低下を最小化するための耐震化が図られます。

【平成30年度 主要整備事項】



東京空港整備事務所ホームページ URL <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
担当 副所長 おおはし てるみ 大橋 照美、第一工務課長 おおの つとむ 大野 勉
TEL 03-5757-2076 FAX 03-5756-4974